高校 阿部野新聞

発行所
大阪市阿倍野区阪南町
大阪府立
阿部野高等学校新聞部
編集兼発行人
川下三郎

燈影校舎 取壊しに着手

二月初旬に完了

講和条約締結と共に暮れた一九五一年ははや過ぎ去り、昭和二十三年学制改革以来第五年目の春を迎えようとしている今日校舎全面復帰と共に終始悩まされて来た運動場拡張問題も阿部高創立三十周年記念と共に関係者の尽力によつて現在拡張工事が着々となされている。（写真は旧燈影学舎）

本年は阿部野高等学校創立三十周年記念に対し大行事の準備も着々と進められている。それに先だち校長はじめPTA役員及関係者の尽力によつて運動場拡張問題も明るい話題となり、ついで図書館拡張の建築も六月頃よりいよいよ手をつけられる運びとなつた。

長い同居生活にグランド問題に悩まされながらも本校スポーツ界は善戦に善戦を重ねて数々の優勝旗を獲得して来た、ここに待望の運動場拡張問題も一部解決されこの程旧燈影校舎は売却が決定して去る十二日より取壊し作業にかゝられている、この作業は旧講堂と普通校舎との請負人は違うがどちらにしても二月初旬には全部取壊しを終つてしまう予定である。

三年期末考査は 1・2・4日に

三年生期末考査は二月一・二・四日と三日間に亘つて行われる。なお一・二年生は第三学期は中間考査が行われず、三月初旬に期末考査が実施される模様で、単位未終了者のなきよう学校より要望されている。

卒業式は2月23日に

角帽を目ざして巣立ち行く三年生には進学適性検査もはや過ぎ去り最後の仕上げに大章である。昭和二十二年四月住高と男女交流を行つて以来五年間共学生活は続けられて来た。昭和二十六年度第四回卒業式は来る二月二十三日と決定され後一ケ月余残すのみとなつたなお体育科では『まだ完了後のクラブ配分とか色々な計画はしていない』と語つている。

〝聖火〟二月四日に發行

第三号〝聖火〟は現在編集が完了し、印刷しつつ。ある応募作品は多数に上り随筆が多いとの事、内容について文化部長の矢部君「今度の作品及編集は前号に較べてすぐれているはずだ。しかし予算の関係上六十頁（二号は百四頁）し又新三年はF（世・地）も（日・か出来なかつた事は残念すぎ」と語つている。なお三号は全生徒に無料配布される予定。

予餞會 二月四日一時より 多催なプロに期待

恒例の昭和二十六年度卒業の三年生を送る第四回予餞会は、来る二月四日（月）午後一時より、本校自治会の主催で行われる。

カリキュラム 二十七年度予備登録

新三年F・Gコースは消滅

昭和二十七年度、カリキュラムの予備登録が此程実施された。新二年生はA（被）B（食）C（物）D（地）E（生）の五コースが設けられABの二クラスは成立するよう対策をねられているがC＝二クラス・D＝一クラス・E＝二クラスの内でどれか一クラスは減ぜられる、なお現在迄でCコースの者約一一〇名、Dコース約二十名Eコース一七〇名である。

昭和二十七年度、カリキュラムの予備登録が此程実施された。新二年生はA（被）B（食）C（物）D（地）E（生）の五コースが設けられABの二クラスは成立出来そうである。F・Gコースの消滅については担任よりそれぞれ生徒個人に話しをして適当にコースを決められる。なお現在迄約

A 36名 B 50名 C 31名
D 40名 E 31名 F 27名 G 31名
H 16名 I 40名 J 30名 K 1名である

論説 而立の年を迎えて

〝講和への希望の年〟と前奏曲華やかにその門出の第一歩を踏み出した昭和二十六年も今は幾多の問題を残して彼方へ去り〝国家自立の年〟昭和二十七年が廻り来た。

昨年昭和二十六年は朝鮮動乱に伴う深刻な内外の危機の中に出発し、被占領国民の面前における連合軍総司令官の罷免、北大西洋同盟を一歩進める西欧統一軍の発足更には第三次大戦への発展を憂慮せしめるイラン石油紛争など数多くの注目すべき重大事を生起せしめ、また我々日本国民にとつて身近な問題として、我が国に関する平和条約の調印と、これに関連する日米安全保障条約の調印とがあつた。これらの条約は、その内容において考慮すべきものがないではないが、それらはさておき、本校の昨年の歩みを静かに振り返つてみよう。

昭和二十六年こそは、本校が未完成な型で新制高校として発足して以来、外形の形成期であつた。即ち昨年二月、優雅な内にも一抹の物足りなさを感じさせる校歌が関西の著名人の手に依つて成り、同年四月、校舎全面復帰により三年間に亘つた住高との同居生活にピリオドを打ち、同八月、全てが備上の失態を理由に中止されたが生徒の手に依つて成つた生徒歌・これは他校に類を見ないものだけうべきファイアー・ストームが準応援歌の制定を見、同十月、遂に惜まれると共に、本年の施行に学園のシンボル校旗の制定を見、は相当の困難が予想される。

茲に本校の外観は出来上つた。

しかるに一方、余りにも朗報に次ぐ朗報なるが故に心に隙が生じたか、心ならずのも数件が事件あつた。即ち大阪新聞の云う〝阿部野高校自治会事件〟なるものがそれである。また全面復帰直後、不可抗力な賊だつたとは云え、体育祭には全校憧れの的であつた力尾内閣は第四回記念祭を盛大に挙げ、即ち昨年二月、優雅な内にも一抹の寂しさを感じさせる校歌が

食堂問題

なんとかならぬか？

〃今暫くの御辛抱、秋には別棟新築食堂を〃

「食堂の利用者の多い事は本校の財源を豊かにする意味から有難いには違いないが、最近の食堂の利用状態をみると終戦当時のあの汽車の窓から乗り込んだ時代を想起させられる。これは食堂が狭いせいであろうと思うが、三〇周年を迎えた現今、なんとかならないものか（二年生S）」との投書が当部に舞い込んで来たので、ここに食堂の実態を明らかにし、紙上をもつて投書の主にお答えしよう！

厚生課食堂係の語るところによれば、最初は別棟に食堂を建てる予定をしていたが、昨年五月食堂の開設を余り急いだので応急処置として洗濯室を改造して今の食堂を作つたわけである。別棟の食堂の建設は予算の関係上二十六年度予算には計上されなかつたが二十七年度予算には編入される模様で、もしこの予算が計上された暁には北舎の北西隅に建てられる。しかし昼食時の混雑は今しばらく辛抱してほしいとの事。

また食堂側の語る所によれば、昼食時の混雑は食堂の狭さからくるもので、収容人員三〇人の食堂に五、六十人が殺到するのだからしかたない。しかし混雑はするが阿部高生はおとなしい故か、まだ他校にくらべるとよい方であるとの事。

結局、食堂は秋までは現状のまま辛抱せねばならず「混雑緩和のためには時間外の利用も黙認せねばならぬ（生徒課）」と語つているような現状では本校の風紀は乱れる一方だが、その点は阿部高生の気品をもつてしたならば解消されるのではないかとも見られている。

便所新築の感謝

投稿歓迎、学年・組明記の事　紙上匿名可

学期新たまつて吾々生徒一同には何かしら新鮮な気分がみなぎつている、がこうした吾々の斗志の一部にも便所の新築という、一見あたりまえなような事が小さいながら、この吾々の気分に影響している。

便所とは、とかく粗末にされ勝ちなもので、昨年までの便所の大部分は、清掃のふとどきな点も充分あつたが汚然として、生理的などいうか、ほつとする憩みの余地が殆んどなかつた、が併し今度の新築で、やつと学校生活の一部に安定感を得たように思われる、理想の学園であらん二つの建設が着々と進んでゆく事に少なからずとも夢でない歓びがある。どんな経緯で便所が新築されたのかは知らないが、あらゆる意味で学校当局に感謝したい。

（H・F生）

阿部高スポーツ界一ケ年の回顧

目立つ排球部の躍進

卓球部二并選手の京阪神大会第二位に朗け、同じく山口選手の全日本大会出場に暮れた一九五一年スポーツ界一ケ年の回顧。

この本校スポーツ界を本紙運動記者が縦横に語つた。題して「阿部高」

A　では始めようか。各部別に行こう。まず卓球からどうだ。

C　卓球の成績はOBの二并選手の京阪神大会単第二位、女子チーム戦第二位、春季府民体育祭山口選手単第二位などだナ。

B　山口選手の西日本大会及び全日本大会出場もあるヨ。

A　こうなると山口選手のワンマンだナ。戸田選手はどうしたのかナ。

C　シーズン中途で体をこわしたからネ。

B　惜しむべしと云うものだヨ。次は体操だ。ここも田中選手のワンマンだろう。

A　仲々、松本、播本選手がいるヨ。

B　そう。春季府民大会の松本選手徒手体操優勝、八月の二、三C大会の播本選手の跳箱優勝など忘れてはいかんネ。

B　すると新人大会の末広選手のマット第二位もそうだネ。

A　しかし惜しかつた。田中選手の団体へ行かなかつた事は。

B　でも補欠選手だとネ。しかし田中選手も卒業なので行かしてやりたかつたヨ。次は排球だ。

A　去年の排球部は正に破竹の勢だつたネ。男子は部別大会の度に一部づつ昇進するからネ。五月に二部になり七月に一部になり十一月には一部の二位だからネ。

C　春、秋の府民大会には二、三位に入つている。それに西日本大会に出たり、大阪東西対抗に三名も出たりネ。

B　女子も六月に部外優勝を遂げ十一月にはC級で優勝、B級だ結局中学校の覇者阪南中学からそつくり男女共乗るんでこんな結果だろうネ。

ここらでソフトに移ろうか。去年のソフトは大阪で三度目の優勝旗を手に入れたネ。

B　広島迄行つて明善（去年の国体優勝校）に二勝しているのには、ソフト部員ならずとも残念だつたネ。

A　試験中でも練習していたからネ。正に超人的かナ。

B　イヤイヤ。先輩がすごいからネ。〃伝統を守らん〃との決意が部員にみなぎつているヨ。

C　ソフトはそうするとワンマンチームではなさそうだネ。次に移ろう。軟庭だ。

A　田中、伊庭組のツーマンか？マ杯・全日本と出てる。

B　女子団体第二位と云うのが、六月にあつたヨ。しかし大阪勢は全国大会には弱いネ。

C　男子は駄目か？

B　軟庭は女子だナ。では野球に入ろう。

A　去年の野球は阿部高スポーツ史初まつての成績だつたナ。

B　そう。府下三位とはよくぞやつたりだ。他のクラブはどうだ

A　柔道がベスト8に入つたネ。

B　水泳が小西、斉藤あたりでコツコツやつているヨ。

C　蹴球、送球は今しばらく休息か？

B　陸上競技がボツボツやつているネ。五年計画とか云つていたが。

A　ソウ。今井、向井先生と揃つているのにネ。

B　先輩がおらんからだヨ。

C　では、きょうはこれ位によしうか。

1951年阿部高5大ニュース

一九五二年を迎え、当部では過ぎにし年、一九五一年の回顧、反省の必要を痛感し恒例の五大ニュースを全校生の投票に依り決定した。＝写真は調整委員会の発表＝

① 會計問題暴露

さる＝五一五票

昨年九月二〇日附大阪新聞は三面トツプに〃府立阿部野高校自治会では会計原簿が紛失して会費四万円の使途が判らなくなり、行すぎた学園自治として府教委でも実情調査に乗り出した〃と報じ百万読者を驚ろかせ、又、これより一ケ月後の十月二十一日附大阪新聞は後日譚として〃阿部野高校自治会事件、生徒を無視して学校の体面をたてる？べくおしつけて退学届を前会計石井君に出させたので府教委では「教育は誰のものか」と真相調査に乗り出した〃と再度報じ、又々百万読者を驚ろかしたが、調整委員会の献身的な努力により真相が明らかにされ、関係者をホツとさせた。

② 校舎全面復歸

成る＝四五七票

本校発足以来三年間懸案の校舎復帰問題は二十五年十二月燈影女学院の買収に伴い、事態は好転し、昨年三月末には全面復帰移転作業が全校の協力に依り終了し、三年間の永きに亘る住高との同居生活に終止符を打つと共に、四月新一年生三百五十余名を迎え、五月二〇日には、赤間府知事等多数の来賓を迎え〃全面復帰祝賀式〃が盛大に行われ本校史の一ページを飾つた。

③ 校歌制定成る

＝三四四票

本校発足以来三年間、待望久しかつた〃校歌〃は昨年、作詩安西冬衛氏、作曲大沢寿人氏によつて決定し、同年二月一日〃大阪府立阿部野高校校歌発表会〃を安西氏臨席のもとに盛大に挙行され、一千人の大合唱が阿部野ケ原にこだまし、同月二十四日には第三回卒業生が初めて〃校歌〃に送られ、母校の名誉を双肩に巣立つて行つた。

④ 自治会顧問更迭

行わる＝三一〇票

一昨年、田中先生の後を継がれ自治会顧問に就かれた竹内徹先生は誠心誠意本校自治会の育成に当られたが、昨年十一月、複雑多岐な事情の中にも、その責を全うされ一昨年春本校に御着任以来、ディーンを始め多忙な日々を送つて居られた荒木信先生に自治会顧問のバトンを渡された。

⑤ 校旗制定成る

＝二七六票

本校発足以来、学園のシンボルたる校旗の制定を見なかつたが、前期自治会の積極的な活動と絵画部等の協力に依つて図案も決り、T百貨店においてその作成を急いでいたが、昨年十月六日その作成を見て、同月十四日行われた第四回体育大会に全校に披露された。

× × ×

⑥ファイヤー・ストーム中止さる　十月＝二五九票

⑦大学入試成績優秀　三月＝二一六票

⑧楠君（ハーモニカ）日本一に　三月＝二〇六票

⑨生徒歌、応援歌成る　八月＝一六九票

⑩創立卅周年記念事業準備初まる　十月＝一二七票

地下鉄 昭和町迄開通

本校より徒歩で三分

大阪市高速電気軌道天王寺―昭和町間竣工式は去る十二月十九日午前十時から本校講堂で行われ、岡野国務相、野田建設相を始め中井市長ら関係者七百余名が出席、国野国務相らの祝詞ののち、出席者一同乾杯をあげ、昭和町から天王寺までの試乗を行つた。

昭和町駅は本校の目と鼻の先にあり、ホームが二つ、天井は割合に低く、電波によつて時間の誤差を修正出来るという市自慢の電気時計が備えつけられ、ペイント、ラツカーなどの新しいこの大阪、難波の都。近代化された御堂筋の真中、銀杏の木の影に淋しく立つ石碑、その横をいつはてるとも知れない自動車の列が続く。トラツクあり、タクシーあり、外人用あり、四万台あり。しかし一日に数度往復する人と言えどここに芭蕉の淋しげな句がじつと自分達を眺めていると知つている人はでくわすかであろう。写真を写す記者に、大阪、難波の都。近代化されたにおいが鼻をつく。

この新路線工事は一昨年六月工費六億円で着工、昨年十二月に出来たもので、目下さらに西田辺までの拡張工事をいそいでいる。

郷土はなかし

『芭蕉』

山路来て何やらゆかしすみれ草

行く春を近江の人と惜しみける

旅人と我が名よばれむ初しぐれ

○……旅の中に句あり、句の中に旅あり―その一生の大半を旅に過した芭蕉

「笠は長途の雨にほころび、紙衣はとまりの嵐にもめたり侘びつくしたる作人、我さえ哀に覚える。」

その芭蕉がついにやつて来た、

車のかげに淋しき名句

……町の姿變れど心變ずら……

「俳諧は中人以下のものと誤れるは俗談平話とのみ覚えたる故なり。俗談平話を正の横をオフイス・ガールらしい四五人が無遠慮に笑いながら通つて行く。

○……「俳諧は中人以下のものと誤れるは俗談平話とのみ覚えたる故なり。俗談平話を正さんが為なり。拙きことばかりを云うを俳諧と覚えたるは浅ましき事なり。俳諧は万葉集の心なり。されば貴となく賤となく味わうべき道なり。唐・明すべて中華の豪傑にも傀づる事なし。只心の賤しきを恥とす。」＝祖翁口訣

芭蕉死してより二百五十年、黒時、元禄七年十月十二日、過ぎし旅をふりかえり、未来を深く思いつつ芭蕉はこの名句の中に淋しく散つていつた。（沢田）

（写真は御堂筋、芭蕉句碑＝旅に病んで夢は枯野をかけめぐる）

旅に病んで夢は枯野をかけ廻る

校外ニュース

〃〃〃